

神戸市における証明書コンビニ交付 サービスの導入について

神戸市
市民参画推進局区政振興課



神戸市の概要

面積：557.02 k m²

人口：1,536,499人（H28.7末現在）

世帯数：699,177世帯（H28.7末現在）

戸籍人口：1,394,232人（H28.3末現在）

住登者が約7割

戸籍数：579,955戸籍（H28.3末現在）

地域の特徴

瀬戸内海沿いに市街地が集中
瀬戸内海に面していない北区
と西区が市域の約7割を占める



コンビニ交付の概要

（対象証明書）

- 住民票の写し：H28.1.20～
- 印鑑登録証明書：H28.1.20～
- 戸籍全部事項証明書：H28.5.25～
- 戸籍個人事項証明書：H28.5.25～
- 戸籍の附票の写し：H28.5.25～
- 市民税課税・所得証明書：H29.3～（予定）



（利用可能店舗）

すべての証明書コンビニ交付サービス参加事業者
（自治体設置を除く）

コンビニ交付の概要

証明書	交付手数料	交付可能時間
住民票の写し	250円	6:30~23:00
印鑑登録証明書	250円	6:30~23:00
戸籍全部事項証明書	400円	9:00~17:00 (土・日・祝除く)
戸籍個人事項証明書	400円	9:00~17:00 (土・日・祝除く)
戸籍の附票の写し	250円	6:30~23:00

交付手数料は窓口より50円安い。

コンビニ交付導入の経緯

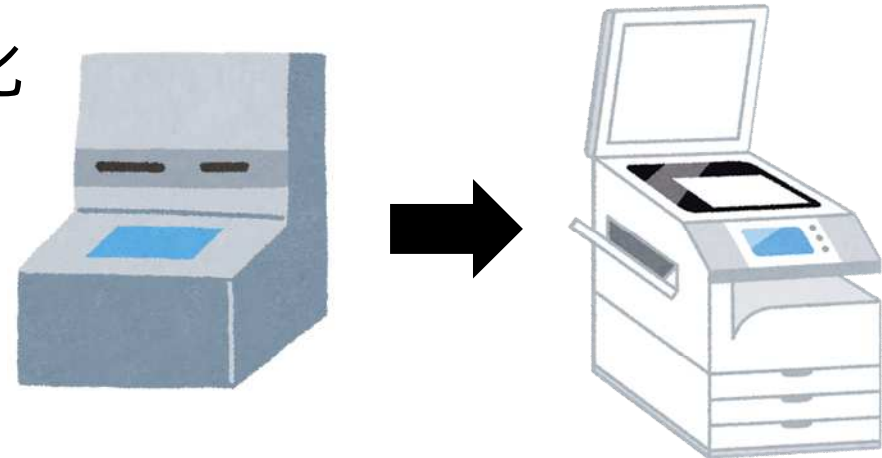
1. H19.7稼働の自動交付機のリプレースにあわせてコンビニ交付の導入を検討（H24.7～導入予定で検討）
2. 住基カードの普及低迷により導入を見送り（自動交付機の稼働を延長）
3. マイナンバーカードでのコンビニ交付について再度導入を検討（H27.1～導入予定）あわせて自動交付機の稼働をH27.12末までとする。
4. マイナンバー制度の開始延期によりコンビニ交付の開始時期を変更（H28.1～導入決定）あわせて自動交付機の稼働を平成28.2末までに変更。



コンビニ交付導入の目的

運用負担が大きくコストが高かった**自動交付機**から
運用負担が小さくコストが安い**コンビニ交付**へ

- 証明書自動交付機の老朽化
- 市民サービスの向上
- 維持管理負担の削減
- 導入コストの削減



さらに、マイナンバーカードの普及啓発も目指す。

上記の目的を達成するために、**L G W A N - A S P**
及びマイナンバーカードによる**J P K I**を利用したコ
ンビニ交付サービスの導入を検討。

稼働までのスケジュール

- H26年4月 コンビニ交付の仕様検討
- H26年6月 **R F I**の実施
- H26年10月 **R F C**の実施
- H26年12月 **R F P**の実施
- H27年2月 提案書締切・提案内容説明会
- H27年3月 提案書評価・開札・契約締結
- H27年4月～12月 システム開発
- H27年10月～12月 工程試験 1～3
- H27年10月 PIA公表（個人番号記載のため）
- H28年1月12日 実店舗試験
- H28年1月20日 **サービス開始（住民票・印鑑登録証明書）**



事業者選定のポイント

- 総合評価一般競争入札にて選定
- L G W A N - A S P の **アプリケーションサービス** での提案を高く評価
- システムの構築と保守運用ではなく、**サービス利用** での提案を高く評価
- 評価項目に **S L A** の目標値を規定
- 既存システムの **改修費** を点数化して評価
- 職員負担 (**見えないコスト**) を点数化して評価
- 将来的な拡張性 (**住登外戸籍の対応・税証明の追加**) についても点数化して評価



JPKI認証方式のメリット

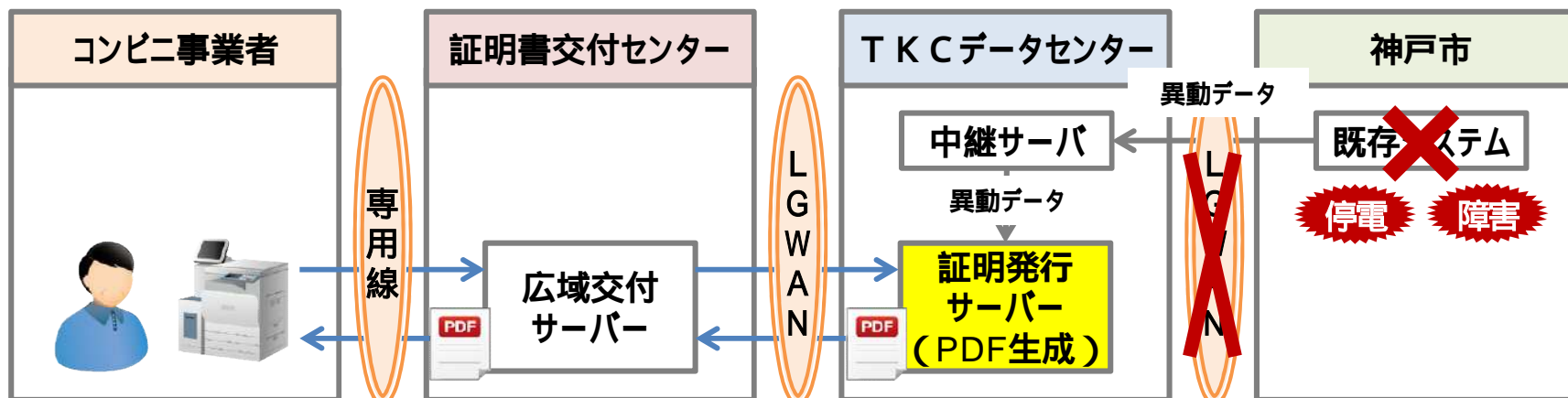
方式	条例利用方式	JPKI認証方式
ICカード標準システム	必要	不要
利用条例の制定	必要	不要
利用登録	必要	不要
暗証番号	証明種別ごとに登録が必要	利用者証明用電子証明書の暗証番号を使用
メリット	<ul style="list-style-type: none">・利用制限が容易（利用登録をさせないことで対応が可能）	<ul style="list-style-type: none">・カード紛失時も利用者証明の停止で証明発行の停止が可能（開庁時間外の停止が容易）
デメリット	<ul style="list-style-type: none">・カード紛失時は個別に証明発行の停止が必要（開庁時間外の停止が困難）	<ul style="list-style-type: none">・利用制限はサーバ側での制御が別途必要

JPKI方式のデメリットである、利用制限については、証明発行サーバにおいて制御を行えるように機能を構築。（**15歳未満は原則利用不可**）



LGWAN-ASPのメリット

・ LGWAN-ASPとLGWANセルフASPの違い



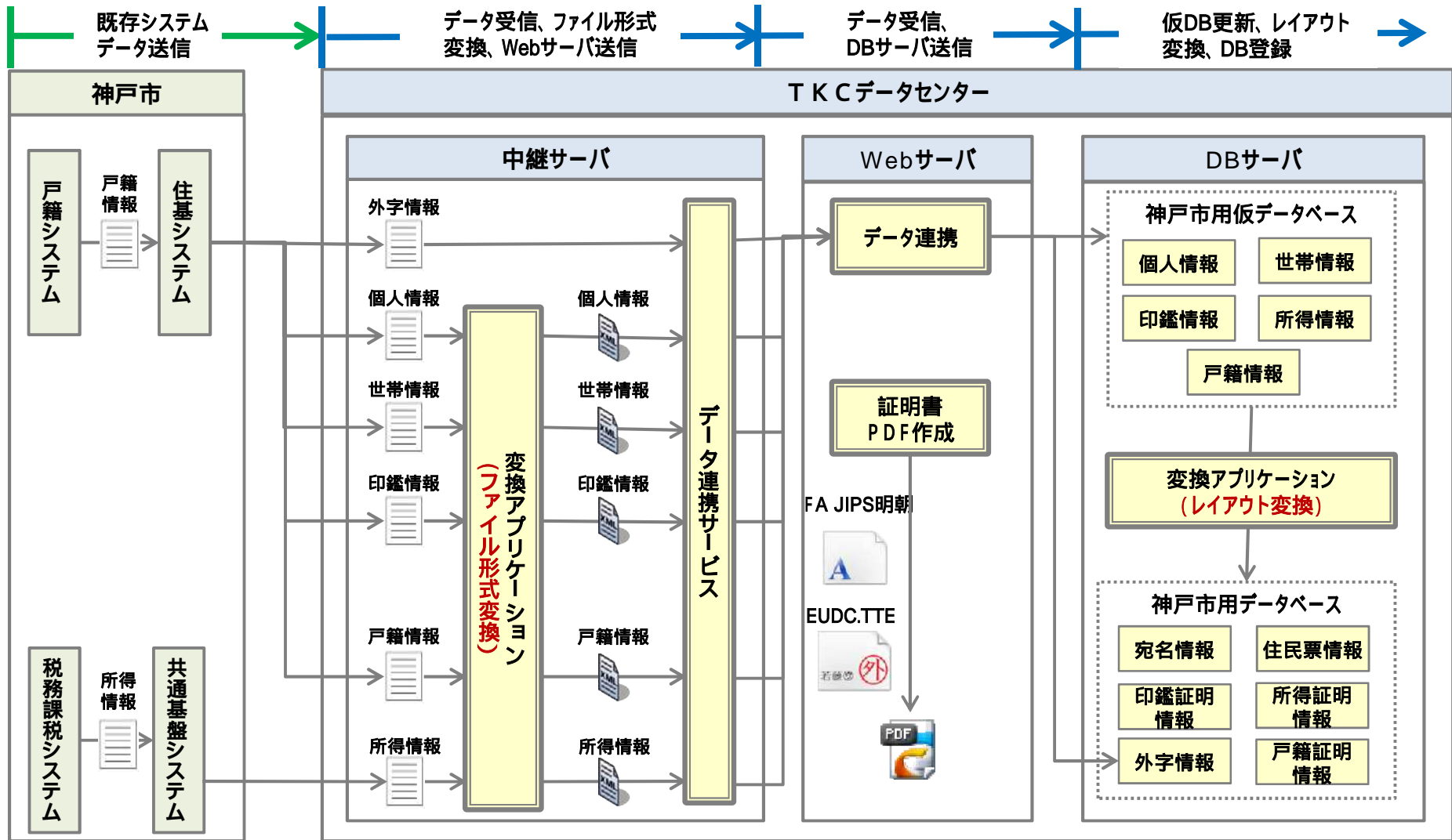
県域LGWAN回線や
既存システムが停止しても
サービスを継続可能

・ LGWAN-ASPの種類による違い

種類	データセンター	サーバ	ソフトウェア
アプリケーションサービス			
ホスティングサービス			×
ファシリティサービス		×	×

アプリケーションサービスであればハードウェアの調達やシステムの構築が不要。

システム構成



システムの特徴

1. マルチベンダーの既存システムと連携
2. 庁舎内にサーバ等の機器を一切設置しない
3. 自動交付機の連携ファイルを流用
4. データセンターに副本を保有して証明書を作成
5. 住記システムの文字フォント・文字テーブルを使用し、文字同定を不要とした
6. 発禁処理や統計処理等を行う運用管理システムもクラウド上に構築
7. 様々な発行制御機能を搭載（DV等）
8. 住登外戸籍の発行にも対応



データ連携とPDF連携の違い

方式	データ連携 (証明発行サーバでPDF化)	PDF連携 (既存業務システムでPDF化)
既存システム 改修コスト	データ連携は連携データを作成するための改修費が高い	PDF連携の場合はパッケージでPDF化機能があれば安い
運用負担	庁内にサーバを設置しないため管理が不要	庁内に設置する公開サーバとセルフASPセグメントの管理が必要
稼働時間	停電や既存業務システムの稼働時間に影響されない	停電や既存業務システムの稼働時間に影響される
拡張性	サービス拡大に際して、既存システムの改修が不要	サービス拡大には既存システムと証明発行サーバの改修が必要
業務継続性	LGWAN回線や既存システムが停止してもサービス継続	LGWAN回線の停止や既存システムの停止によりサービス停止

データ連携は既存システムの改修コストが高くなるが、既存の自動交付機用の連携ファイルを利用することで改修コストを抑制。

神戸市の場合、課税システムがホストからのマイグレーションのため、PDF化の機能が備わっておらず、課税システムの改修費はデータ連携の方が安価であった。



運用管理システムについて

(運用管理システムの機能)

1. 統計機能 (時間別, 地域別, 種別など)
2. 証明発行履歴確認機能 (開示請求にも対応)
3. アクセスログ抽出機能
4. 住登外戸籍登録機能
5. 発行制限機能 (DV, 時間外戸籍など)
6. 管理機能 (公印・認証者名の変更など)
7. 操作記録確認機能
8. 操作者権限設定機能



LGWAN-ASPでのサービス利用契約としているため、随時、運用管理システムの改善を事業者に提案し、システムのレベルアップを行ってもらっている。

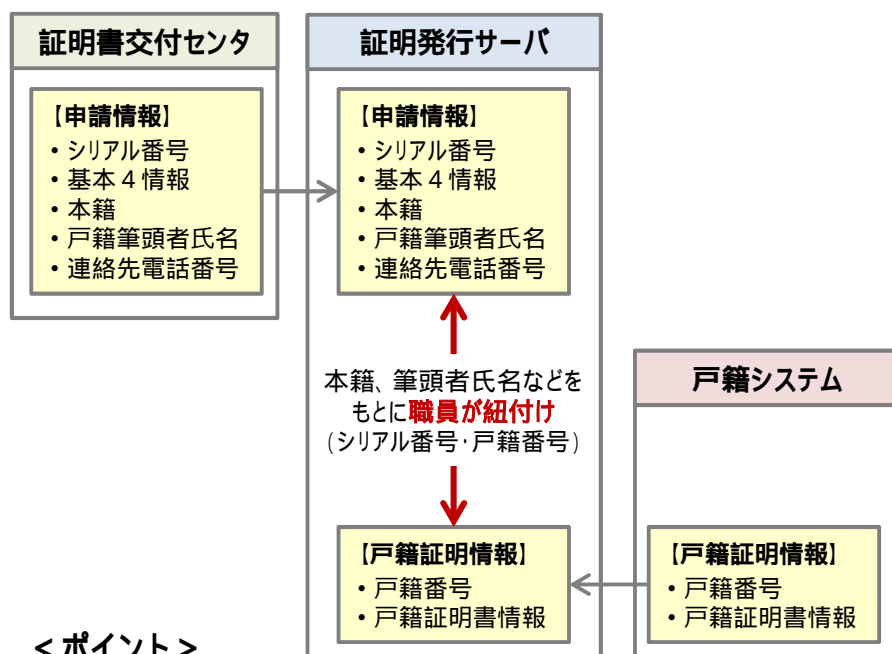


住登外戸籍の交付

- ・ 証明発行サーバにて紐付けを実施（管理システムで紐付け作業が可能）

< 証明発行サーバで紐付け >

（戸籍証明書情報の「データ連携」が前提）

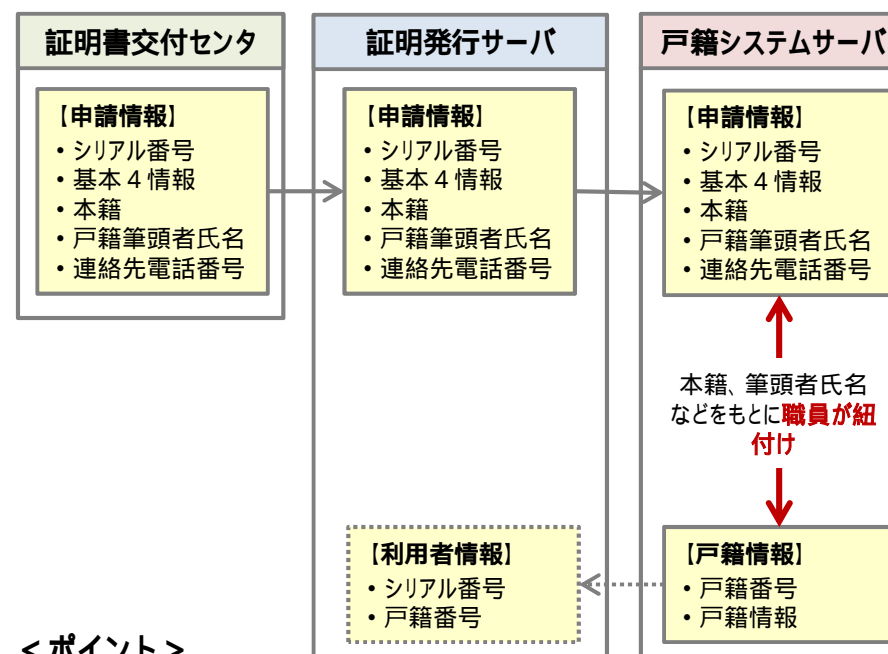


< ポイント >

証明発行サーバの改修（申請受付、紐付け）は必要だが、戸籍システムの新たな改修は最小限（不要と想定）。

< 戸籍システムで紐付け >

（戸籍証明書が「PDF連携」の場合（想定））



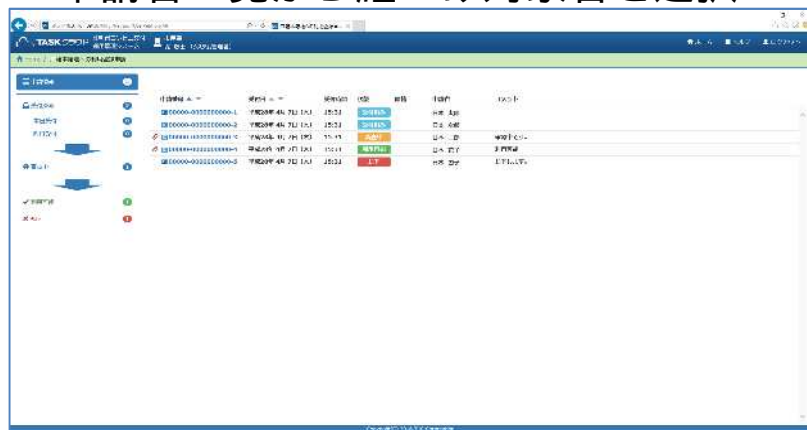
< ポイント >

戸籍システムの改修（申請情報受付、戸籍情報紐付け）が大きいとともに、証明発行サーバの改修（申請情報受付、シリアル番号連携）も必要。

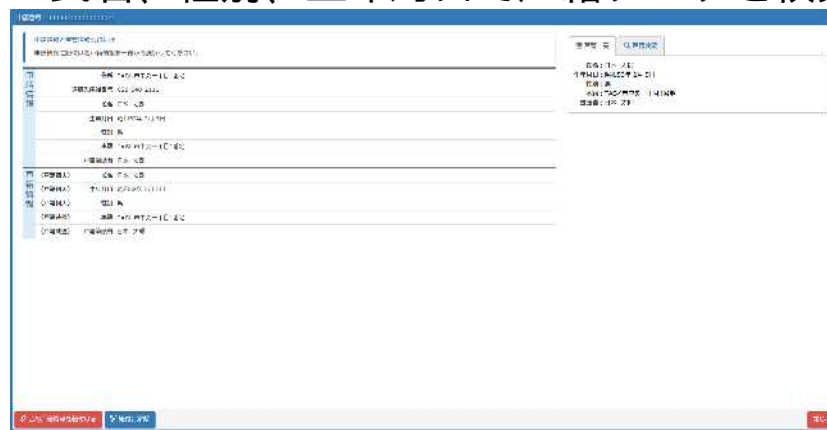
住登外戸籍の利用登録

(登録画面) 運用管理システムで利用登録申請の紐づけ処理を実施。

申請者一覧から紐づけ対象者を選択



氏名、性別、生年月日で戸籍データを検索



一致しない項目は強調表示される



紐づけ後、状況を利用可能に変更し登録



住登外戸籍のメッセージ

(キオスク端末の場合)

証明書交付サービス

本籍地の市区町村に申請しました。

申請番号は「1355-5000-0000-0272」です。

申請番号は、以下の登録状況確認サイトにおいて、登録状況を確認する際に必要となります。
この画面以降、申請番号は表示されませんので、必ず申請番号をお控えいただきますようお願い致します。
なお、申請番号の印刷も可能です(有料10円)。申請番号の印刷が不要の場合は終了するボタンを押してください。
登録状況確認サイト: <http://ks.lg-waps.jp/ksgr/#/gak>

東京都サンプル郡サンプル町から次のメッセージを受信しました。

申請を受け付けました。審査完了まで5営業日ほどかかります。申請後にお気付きの点等ございましたら、お手数ですが、市区町村窓口(電話番号:****-*****)までご連絡ください。

終了する

申請番号を印刷する

証明書交付サービス

戸籍証明書交付の
利用登録状況確認サイト

利用登録状況確認 > 確認結果

コンビニエンスストア等で戸籍簿編定の交付を受け取るための利用登録申請状況を確認します。

申請番号: 1234-5678-9012-3456

ステータス: 利用可能

サンプル郡サンプル町から次のメッセージを受信しました。

利用登録申請は審査の結果、正常に登録完了いたしました。(登録完了日: 平成xx年xx月xx日)

閉じる

(申請時メッセージ)

申請成功：申請を受け付けました。審査完了まで本日から3～5営業日かかります。登録状況は登録状況確認サイトで確認可能です。

申請失敗：申請情報の取得に失敗しました。再度、申請を行ってください。(住所と本籍の両方が神戸市内の方は、戸籍証明書交付の利用登録申請は不要です。)

申請受付済み：申請は既に受け付けられています。申請状況は登録状況確認サイトで確認可能です。

(確認メッセージ)

審査中：利用者登録申請の審査中です。審査完了は申請日から3～5営業日後の予定となっています。しばらくお待ちください。

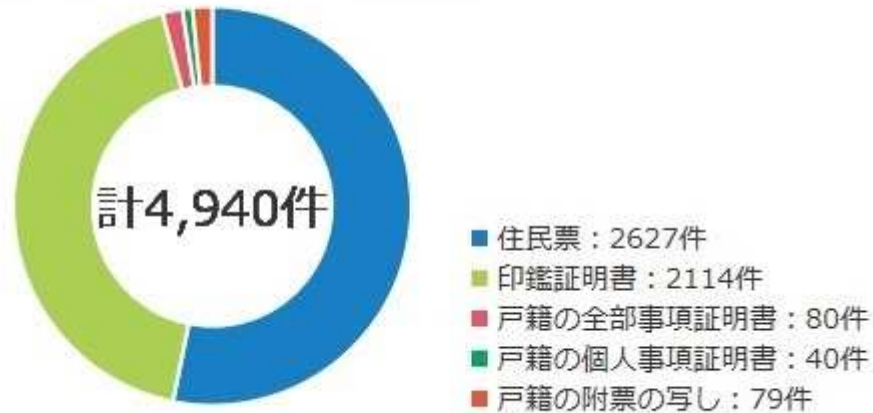
却下：申請内容に一致する戸籍がないため、利用登録申請を却下しました。申請内容を再度ご確認ください。(本籍や筆頭者名は本籍入りの住民票で確認できます。)

利用可能：利用登録が完了しております。本籍地の証明書交付サービスをご利用いただけます。

該当なし：入力された申請番号に対する申請がありません。申請番号を確認いただくか、再度、戸籍証明書交付の利用登録申請を行ってください。(現在は画面表示なし。)

証明書発行状況

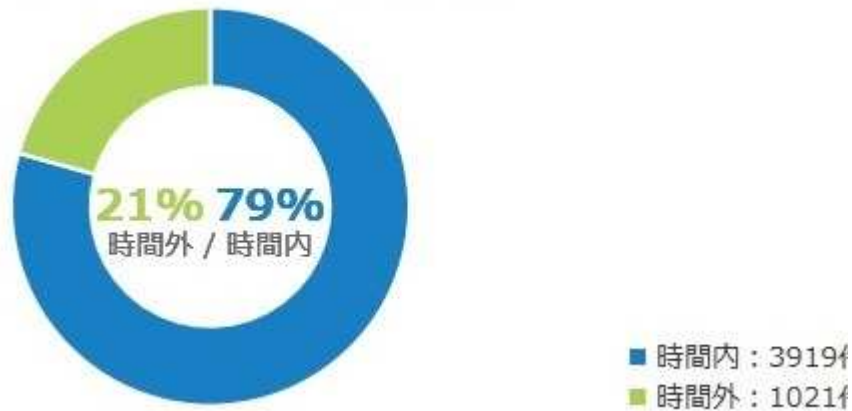
2016年度 証明書ごとの統計



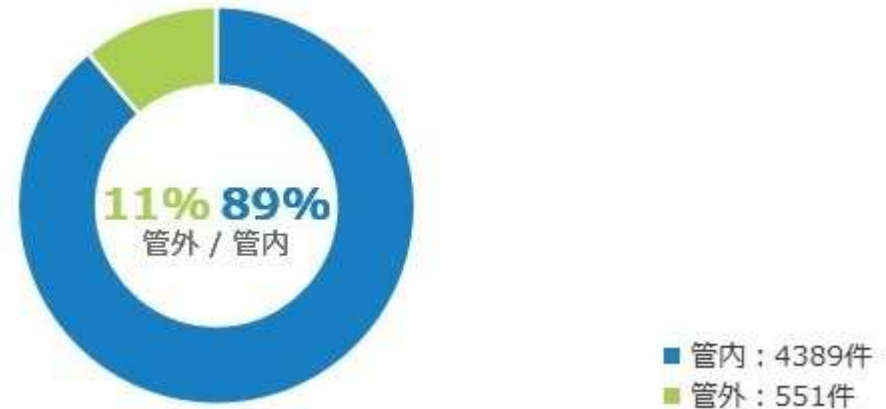
2016年度 曜日ごとの統計



2016年度 時間内・時間外統計



2016年度 管内・管外統計



現状と課題

- ・ マイナンバーカード交付数
128,273枚（H28.7末現在）
- ・ コンビニ交付証明書交付枚数
2,182枚（H28.7月実績）

交付枚数は自動交付機稼働時の約1/5

現在のカード交付枚数は自動交付機利用登録者数の約1/2のため、今後、コンビニ交付のPRをさらに実施し、利用者を増やしていく必要がある。



ご清聴ありがとうございました。

神戸市のコンビニ交付に関するお問合せは

神戸市 市民参画推進局 区政振興課

指導係 小嶋（業務改善担当係長）

TEL：078-322-5072

E-MAIL：kusei_shido@office.city.kobe.lg.jp

まで、お問合せください。

